

平成26年度予算見積調書

課室名：疾病対策課
 担当名：がん・疾病対策担当
 内線：3593 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B80	肝炎対策推進事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	肝炎対策推進費	
事業期間	平成19年度～	根拠法令	肝炎対策基本法、肝炎対策の推進に関する基本的な指針			戦略項目	02 介護の安心		
					分野施策	010301	生涯を通じた健康の確保		
1 事業概要 肝炎の正しい知識の普及啓発及び肝炎診療水準の向上及び患者生活の支援を図る。				5 事業説明					
(1) 普及啓発事業 306千円				(1) 事業内容					
(2) 肝炎対策推進体制強化事業 179千円				ア 普及啓発事業 ポスター作成(制度改正時等)、講演会1回 306千円					
(3) 医療提供体制整備事業 424千円				イ 肝炎対策推進体制強化事業 肝炎対策協議会2回 179千円					
(4) 県民相談支援事業 6,419千円				ウ 医療提供体制整備事業 疾患診療連携拠点病院等連絡協議会1回 424千円					
(5) 緊急肝炎ウイルス検査事業 4,320千円				エ 肝炎診療従事者基本研修1回					
(6) 肝炎患者支援手帳事業 336千円				オ 県民相談支援事業 肝臓病相談センター(月曜日～土曜日)設置・運営 6,419千円					
				カ 緊急肝炎ウイルス検査事業 医療機関での無料検査 4,320千円					
				キ 肝炎患者支援手帳事業 肝炎患者支援手帳の作成・配布3,000部 336千円					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)				(2) 事業計画					
				ア 肝炎ウイルス検査の更なる促進 全ての県民が1回は肝炎ウイルス検査を受検できるよう肝炎検査の受検体制を整備し、受検の勧奨を行う。					
				イ 適切な肝炎医療の推進 拠点病院を中心とした診療ネットワークを構築及び人材育成に取り組み、肝疾患診療体制の整備を進める。					
				ウ 肝炎に関する正しい知識の更なる普及啓発 肝炎患者等への不当な差別を解消し、また、感染経路についての知識不足による新たな感染を予防するため、更なる普及啓発に取り組む。					
				エ 肝炎患者等及びその家族等への対する支援の強化 肝炎患者等の不安軽減や適切な肝炎診療の選択などに対応するため相談体制を整備する。					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果					
				医療機関での無料検査数：平成25年度500件 平成26年度720件(目標)					
				研修受講医師数：平成25年度 154人 平成26年度 200人(目標)					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		国庫支出金							
決定額	11,984	6,638					5,346	1,343	
前年額	10,641	5,770					4,871		